



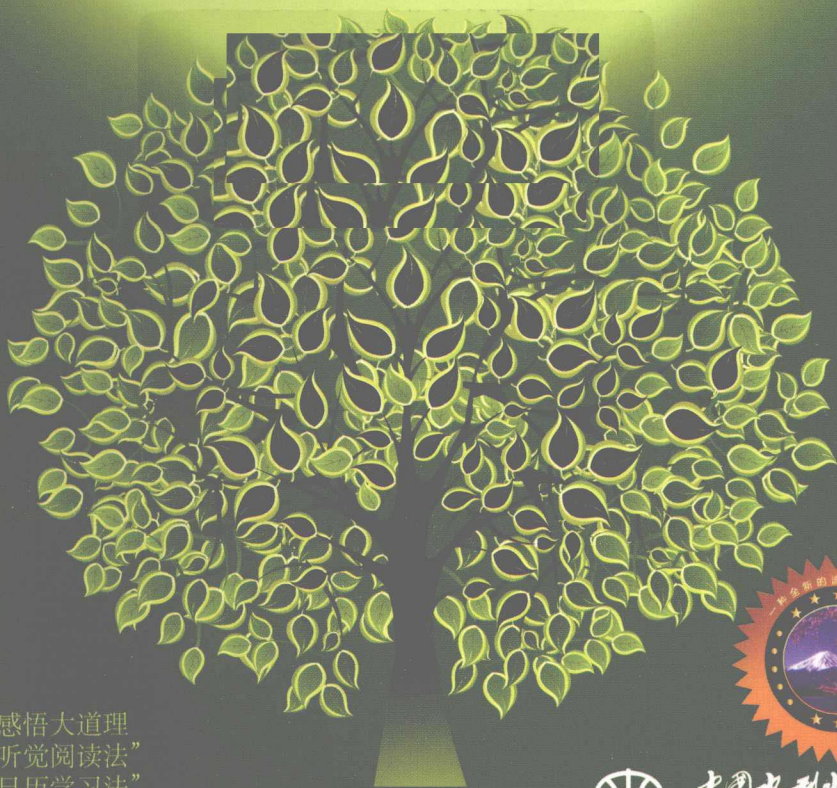
大耳朵故事汇丛书

每天听个 日文好故事

小故事大道理

毎日一つの日本語ストーリーを聴く

大耳朵工作室 编著



小故事感悟大道理
首创“听觉阅读法”
特创“日历学习法”

一切尽在小故事中，彰显华丽阅读的日文竞争力



中国水利水电出版社
www.waterpub.com.cn

大耳朵故事汇丛书

每天听个日文好故事

小故事大道理

【日语听说轻松二合一】

大耳朵工作室 编著



中国水利水电出版社
www.waterpub.com.cn

内 容 提 要

一杯清茶、一盏台灯、一段旅程、小故事大人生中与你一起洞悉人生的大道理，体会日文的魅力，成就完美自我的心性修炼。

阅读力就是竞争力。培养日语阅读兴趣和提高阅读能力是一个循序渐进、坚持不懈的学习过程。本书采取日历式的编排方式（每月4周，从星期一到星期五，每天听一篇日文故事），一共精选了240个日文故事。学习者每天听读一个故事，不知不觉之间就安排了一个长达一年的学习计划，阅读力的提升即可水到渠成。

本书所附MP3光盘收录了所有文章的日文朗读，外国专家纯正标准的发音在您欣赏美文的同时，对您的口语和听力也有着潜移默化的影响。一起轻松享受这阅读海洋中的豪门盛宴吧。

图书在版编目（CIP）数据

每天听个日文好故事·小故事大道理 / 大耳朵工作室编著. -- 北京：中国水利水电出版社，2010.8
（大耳朵故事汇丛书）
ISBN 978-7-5084-7725-1

I. ①每… II. ①大… III. ①日语—听说教学—自学参考资料 IV. ①H369.9

中国版本图书馆CIP数据核字(2010)第142751号

策划编辑：陈 蕾 责任编辑：陈艳蕊 封面设计：潘国文

书 名	大耳朵故事汇丛书 每天听个日文好故事：小故事大道理
作 者	大耳朵工作室 编著
出版发行	中国水利水电出版社 （北京市海淀区玉渊潭南路1号D座 100038） 网址：www.waterpub.com.cn E-mail: mchannel@263.net（万水） sales@waterpub.com.cn 电话：（010）68367658（营销中心）、82562819（万水）
经 售	全国各地新华书店和相关出版物销售网点
排 版	北京万水电子信息有限公司
印 刷	北京蓝空印刷厂
规 格	170mm×240mm 16开本 17印张 334千字
版 次	2010年9月第1版 2010年9月第1次印刷
印 数	0001—5000册
定 价	35.00元（赠MP3光盘）

凡购买我社图书，如有缺页、倒页、脱页的，本社营销中心负责调换
版权所有·侵权必究



本书特色

小故事，大道理

故事是这个世界上让人们喜爱乃至着迷的事物。智者说：“一花一天国，一树一菩提，一沙一世界。”真正的智者往往从细节之处观看和体味整个世界。

本书的 240 个小故事将引领你进入趣、情、爱与理的博大世界，使你更加充满信心地去追求梦想。这里有嘻嘻哈哈的幽默故事，有体会幸福与生活的感悟故事，有帮你战胜挫折的勇气故事，有闪烁着人性光辉的美德故事，有发人深省的智慧故事，也有在成长路上给你动力的哲理故事。相信本书能为你展现一个美丽新世界并使您的日语学习更上一层楼。

听觉阅读法

所谓“听觉阅读法”指的是用耳朵直接听文章的录音，而非用眼睛直接看。美国口语专家罗斯的一份研究报告表明，在语言交际活动中，听的方面占的比重最大（听、说、读、写所占的比重分别为 42%、32%、15%、11%）。听是一个人获得信息、摄取知识和以发展智力的重要途径，也是一个人社交技能高低的重要标志。从广义上说，阅读也是一个“用耳听”的过程——眼睛识别到图像信息之后首先会传导到大脑，大脑将图像信息默读给耳朵听，转变成听觉信息，然后耳朵再将这些听觉信息传到给语言中枢，形成理解和判断。与其通过这样一个“绕弯子”的过程，我们还不如直接把阅读的文章拿来听。通过外籍专家充满情感、抑扬顿挫的朗读，我们就可以很容易地形成语感，并提高对句中意群的把握能力，突破长难句识别和理解上的瓶颈。

随着科技的快速发展，可以预见的是，不远的将来，我们将会迎来新一波的阅读文化的洗礼，从“文字阅读”，到“图像阅读”，现在轮到“听觉阅读”。我们的生活和学习，将渐变成一种流动的听觉体验。

日历式学习法

培养日语阅读兴趣和提高阅读能力是一个循序渐进、坚持不懈的学习过程。本书采用日历式的编排方式（每年 12 个月，每个月 4 个星期，从星期一到星期五，每天听一篇故事），一共精选了 240 个日文故事，学习者每天听读一个故事，不知不觉之间就安排了一个长达一年的学习计划。

本书所附 MP3 光盘收录了所有文章的日文朗读，外国专家纯正标准的发音在您欣赏美文的同时，对您的口语和听力也有着潜移默化的影响。

每天慢品一个故事，陶冶您的心灵；每天精听一个日文好故事，助您提高日语听说水平。

本书由辽宁石油化工大学初良龙、顾玉梅担任主编，郝剑锋担任主审，其他参与编写的有：王丽霞、高巍、韩晶、侯晓莉、冯旭、冯薇、邵雪梅、宋佳、王丹、夏丽、尹洪燕、赵玲等。本书日语录音由外教铃木美惠（びめぐみ）和长谷川（はせかわ）朗读，由北京书友佳苑教育咨询中心的李可义、高向云和靳萌录制并剪辑完成，在此表示一并感谢。

本书特色

1月	1
第1周	1
坐在公园长椅上	1
精神病科的活动	2
后院里的欺辱	3
问题	5
在这里等着	6
第2周	6
鸡蛋	6
除夕	7
向日葵	8
猫	9
去去就回	10
第3周	11
昏暗的夜路	11
嗜好褐色	12
雾夜	13
自行车	14
黄色的自行车	15
第4周	16
幸福	16
真实	17
天堂入场券	18
蒲公英	20
盛开在庭院中的大波斯菊	21
2月	23
第5周	23
时刻表上没有的电车	23

眼花缭乱	24
谎言和蜻蜓	25
绝对没见过	26
最棒的一张弓	27
第6周	28
深深埋入心中	28
世界图书馆	29
人科、人属、人类、女性	31
甜的红茶	32
愤怒	33
第7周	34
异世界迷路者咨询室	34
让人感伤的素描	35
古代的武士	36
旅途	37
图书馆	38
第8周	40
她	40
等待的等灯塔	41
梦醒之后	42
逃亡者	43
恐怖的人	44
3月	46
第9周	46
命运的相遇	46
便利	47
春天海岸上的故事	47
时间机器	48

空等.....	50	决心.....	82
第 10 周.....	51	最好的窗口.....	83
现在的时钟.....	51	我爱樱花.....	85
出售书籍和光盘的店.....	52	你的梦想, 好笑.....	86
未来的时钟.....	53	第 16 周.....	87
梦里的苏打水.....	55	春天的梦.....	87
以前的时钟.....	55	闻不到的气味儿.....	88
第 11 周.....	57	落樱.....	89
恶魔的太阳.....	57	被过滤了的爱情.....	90
失去了颜色渲染的天空.....	58	爆破商店.....	91
孤独.....	59	5 月.....	93
视点.....	61	第 17 周.....	93
令人难懂的姐姐.....	61	你的名字.....	93
第 12 周.....	63	三月的圣诞老人.....	94
朝着箭头所指的放向.....	63	余香.....	95
欢迎回来.....	64	寂寞的青蛙.....	96
告别.....	65	武器公主.....	97
调料是眼泪.....	67	第 18 周.....	98
你这家伙.....	68	等待的人.....	98
4 月.....	69	向星星许愿.....	99
第 13 周.....	69	小提琴.....	100
超级宝贝.....	69	夕阳的天空下.....	101
一夜的迷惑.....	70	愚人节.....	103
丘比特是妄想的动力.....	71	第 19 周.....	104
周六的行踪.....	73	三号.....	104
职业.....	74	不能发邮件.....	104
第 14 周.....	75	谁在哭?.....	105
没了卖陀螺商店的世界.....	75	不在了.....	106
感情和黑板擦.....	76	意大利式咖啡不苦.....	107
今后的计划.....	77	第 20 周.....	109
黑板上的情书.....	79	充满了谢意的大街.....	109
消失了.....	80	抓紧公交车的扶手.....	110
第 15 周.....	81	痛苦.....	111
发生在眼前的奇迹.....	81	零分.....	111

万圣节跟你恶作剧·····	112
6月·····	114
第21周·····	114
感冒·····	114
傍晚·····	115
夕阳余晖·····	116
重生·····	117
窗·····	118
第22周·····	119
旅行·····	119
苏打水的午后·····	120
约定·····	121
国王和鞋匠·····	122
白色信封·····	123
第23周·····	124
心·····	124
殉葬·····	126
黑猫·····	126
脾气暴躁·····	127
通往天国的阶梯·····	128
第24周·····	129
没看到·····	129
那个女子·····	130
黄油土豆·····	131
石像·····	131
露水·····	132
7月·····	133
第25周·····	133
花与蝶·····	133
蚊子·····	134
敬献鲜花·····	135
结婚典礼一周前·····	136
冰糖果·····	137
第26周·····	138
优柔寡断·····	138

少年和坟墓·····	139
解除魔法的灰姑娘·····	140
不可思议的雨·····	141
坐着不动的猫·····	141
第27周·····	142
世上最充满勇气的五个字·····	142
遗失物·····	143
辉夜姬·····	144
勿忘草·····	144
黑眼睛的少年·····	146
第28周·····	147
她死了两次·····	147
邂逅·····	148
毕业照·····	149
美人鱼·····	150
七夕·····	151
8月·····	152
第29周·····	152
黄色的春天·····	152
犀牛·····	153
小丑·····	154
其实有人操作·····	155
风·····	156
第30周·····	157
内心深处·····	157
烹调鸡蛋·····	158
在菜板和戒指之间·····	159
恶劣的学长·····	160
夜里散步·····	161
第31周·····	162
你和按钮·····	162
猫爪·····	163
和尚·····	165
野岚(狗的名字)·····	166
想吃火腿·····	168

第32周	168
脏狗	168
纯白色的毛巾	169
试刀杀人	171
只有一句	172
皇冠	173
9月	175
第33周	175
遗失物	175
大烟肉	176
恋爱对象	177
大象	178
遗失的物品	179
第34周	180
日常	180
妻子的主食	181
捕捉瞬间	182
文字	183
喜欢	184
第35周	185
看海	185
叔叔的收音机	186
兄弟	187
新月	189
秋天很冷	190
第36周	191
日暮	191
明天的事情	192
一天结束的时候	193
归家	194
深夜中的出租车	195
10月	197
第37周	197
饭香	197
超喜欢!	197

真相	199
烟花	201
回忆	202
第38周	204
相逢和分别	204
希望	204
生日	205
东京	206
记忆	207
第39周	208
大辉和幽灵船	208
笑颜	209
香奈枝	210
在空中自杀的愿望	211
凛花	212
第40周	213
关于善良	213
斜眼儿的男子	214
圣诞老人的礼物	216
雨和男子	217
眼泪疫苗	217
11月	219
第41周	219
天蓝色的巧克力	219
停战前夜	220
没有钱	221
女性不擅长说关西腔	222
月亮	223
第42周	224
赏月	224
现实的梦	224
复活的红色纱线	225
大象和老鼠的对话	227
喜欢啤酒	228
第43周	229

时令季节	229
没有翅膀的天使	230
鞋盒	231
每秒一厘米	233
年轮	234
第 44 周	235
节日	235
狗	236
追逐	237
遗弃老人的山	239
浪漫	240
12 月	242
第 45 周	242
千年后的预言	242
在天使降临的日子	243
美味佳肴	244
瘟神	246
妈妈的策略	247

第 46 周	249
旧书	249
永眠草	250
绝望的音乐	252
猫和嗅觉	252
女剑士和她的妹妹“炎之花”	254
第 47 周	255
微笑的女神	255
一个人	255
冬天的来访	256
无线电模型店	257
心	258
第 48 周	259
雨天	259
大雨警报	260
蟹原一家	262
饭	263
小偷的骄傲	264



辛卯 2011 癸卯							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Q1
02 辛卯	03 辛卯	04 壬辰	05 壬辰	06 癸巳	07 癸巳	08 甲午	01 甲午
09 甲午	10 乙未	11 乙未	12 丙申	13 丙申	14 丁酉	15 丁酉	
16 戊戌	17 戊戌	18 己亥	19 己亥	20 庚子	21 庚子	22 辛丑	
23 壬寅	24 壬寅	25 癸卯	26 甲辰	27 甲辰	28 乙巳	29 乙巳	
30 丙午	31 丙午						

1 月



第 1 周



こうえん

公園のベンチにこしかけて 坐在公園长椅上

まさこ い と
真子は何かを言いかけたが、うつむき口を閉ざした。

「なんだよ」

しゅうじ い
修二はイライラしながら言った。

「……」

おれ
「俺、おまえのそういうところ嫌い」



「ごめんなさい」

まさこ せいかく じぶん いけん い
真子はおとなしい性格だった。自分の意見をはっきり言えなかった。

しょうがくせい と き げんいん こうに いま まさこ
小学生の時からそれが原因でいじめられ、高2の今も真子はいじめられていた。

しゅうじ しょうがくろくねん くらす おな まさこ し
修二は小学六年のとき、クラスが同じになってから真子を知った。

まさこ しゅうじ まさこ
いじめられている真子のことをほうっておけなかった。なにかにつけて修二は真子

まわ き
のそばにいた。周りにはからかわれていたが、そんなこと気にならなかった。

しょうがくせい ぜんぜんしんぽ
「おまえ、小学生の時から全然進歩ねーよな」

しゅうじくん
「修二君も」

い
「なに言ってんだよ」

しゅうじ まさこ あたま かる
修二は真子の頭を軽くたたいた。

こうえん べんち すわ ふたり はな しょうがくせい か
公園のベンチに座って二人で話す。小学生のときからの変わらないこの

しゅうかん
習慣。



まさこ なに たいせつ なに たの じかん
真子にとって何より大切に、何より楽しい時間だった。

こうえん こうびに えんすす とあ ふたり すがた み きょうこ
公園のそばにあるコンビニエンスストアで、二人の姿をじっと見ている恭子と
と ま あんず さえ すがた
取り巻きの杏子と紗枝の姿があった。

きょうこ まさこ きら しょうがくせい できごと ひいらい きら つづ
恭子は真子が嫌いだった。小学生のあの出来事があった日以来ずっと嫌い続

けていた。

えす かれー としき がっこう かよ まさこ しゅうじ きょうこ しょうろく くらす
エスカレート式の学校へ通う真子と修二と恭子は小六のときからクラスが
いっしょ
一緒だった。

きょうこ まさこ み いらいら おさ う ば
恭子は真子を見ただけでイライラして抑えようがなかった。その憂さ晴らしの
くらす せんどう まさこ
ために、クラスを扇動して真子をいじめてきた。

たんじゆん まさこ きら
だが単純に、真子のことが嫌いだからいじめてきたわけじゃなかった。

きょうこ しゅうじ す しゅうじ いっしょ まさこ にく
恭子は修二が好きだった。だからよりいっそう修二と一緒にいる真子が憎かった。

きょうこ じぶん ようし じしん しゅうい みと じじつ
恭子は自分の容姿には自信があったし、それは周囲も認めた事実だった。

くら まった かわい まさこ どこ
「あんな暗くて、全く可愛くない真子のドコ

词汇链接



出来事：活动

姿：样子，姿势

せんどう

扇動する：扇动，转动

がいのいのよ」

ことば きょうこ くちぐせ
この言葉は恭子の口癖になっていた。

あんず さえ きょうこ たい
杏子と紗枝はそんな恭子に対し「そうだよ。

きょうこ ぜったい い つね
恭子のほうが絶対にいいのに」と言うことが常だった。



せいしんか できごと
精神科での出来事 精神病科的活动

ちが
「あの、違うんですか！」

め まる うさぎ も ま せなか ま しろ かみ
目をまん丸くして、ウサギのぬいぐるみを持ったまま、曲がった背中のまま、真っ白な髪の毛の彼女は言った。

わたし へや
「じゃあ私の部屋はどこなんです！！！」

「こっちですよ。」



わたし かのじょ かのじょ ヘや あんない
と、私 は彼女を彼女の部屋に案内してやった。

かのじょ で き ヘいさびょうとうない ある
しかし、彼女はまたそこから出て来て、閉鎖病棟内を歩いていた。

やきんたんとう かんごふ
すると、夜勤担当の看護婦がやってきて、

で き
「あー——〇〇さん！！また出て来て！！！！

ヘや はい
あなた、もうこの部屋に入っていないさい。」

かんごふ おまる かのじょ ヘや い
そういって、看護婦は、オマルを彼女の部屋に入
どあ かぎ そと
れて、ドアの鍵を外からかけてしまった。

どんどんどん
すると、ドンドンドン！

ヘや おと き と ねどこ め まる
と部屋から音がしていたが、気に留めないようにして、寝床についたが、目をまん丸くして、
おも と こ
いた〇〇さんが、かわいくも思えたが、閉じ込められてちょっとかわいそうだった。

词汇链接



ましろ
真っ白な：纯白色的

看護婦：护士

夜勤：夜班



うらにわ ひさん 裏庭での悲惨ないじめ 后院里的欺辱

おおかがく えんこうとうぶにねんさんくみ まさこ くらす しゅうじ おとこともだち わら
大賀学園高等部二年三組が真子のいるクラスだ。修二が男 友 達と笑いあっ
あいだ あんず まさこ そば こごえ つがや
ている 間 に、杏子が真子の側にきて小声で 呟 いた。

まさこ はなし
「真子、ちょっと 話 があんだけど。」

ろくねんいじょう か あいず ことば まさこ からだ ふる
六 年 以 上も変わらないいじめられる合図の言葉。真子の 体 は震えだした。

「ついてきな」

あんず つめ い はな きょうしつ
杏子は冷たく言い放ち 教 室 をでた。

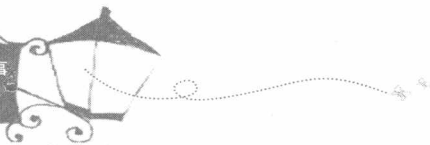
まさこ あと
真子はおびえながらも後についていくしかなかった。

がくえん なかにわ からだ うご はな じかん す かた たの
学 園 の中庭は 体 を動かしたり、話したり、それぞれの時間の過ごし方で楽し
ひと かつき はんめん うらにわ
む人がいて活気にあふれていた。その反面、裏庭はひっそり静けさが漂っていた。

うらにわ まさこ さいてき ばしょ
裏 庭 は真子をいじめる最 適 の場所だった。

うらにわ すで きょうこ さえ くらす じよしすうにん あつ
裏 庭 には既に 恭 子と紗枝、クラスの女子数人が集まっていた。

きょうこ ゆうとうせい いしゃ べんごし りょうしん たいりょう きふ たしょう
恭 子 は優 等 生 だったし、医者と弁護士の 両 親 の 大 量 の寄付のおかげで多少



のこことならと教師たちは目をつぶっていた。いじめに気づいた教師たちもいたが我が
身のかわいさに知らないフリをつづけた。

まさこ した む かお
真子は下を向き、顔をあげようとはしなかった。

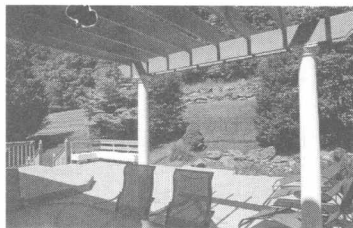
「おまえのそういうイジイジしたところが気に食わないんだよ」

あんず おも き こうしゃ うすよご かべ まさこ ようしや
杏子は思い切り校舎の薄汚れた壁に真子を容赦なくたたきつけた。

まさこ せいふく かべ よご ばらんす つち うえ
真子の制服はたたきつけられた壁によって汚れ、バランスをくずし土の上にしゃ
がみ込んだ。

「きったねー。お前にはそういう汚れが似合っ
てるよ」

あんず ひにく え う さえ わら ごえ
杏子は皮肉な笑みを浮かべ、紗枝たちは笑い声



をあげた。

さえ つち て にぎ まさこ む な
紗枝はしゃがんで土を手で握りしめ、真子に向かって投げつけた。

かいし あいず まわ じょしせいと おな つち まさこ
それを開始の合図に周りの女子生徒が同じように土を真子に投げつけた。

ねが
「お願い。やめて。」

まさこ ひつし こんがん きょうこ はくしや
真子の必死の懇願も杏子たちに拍車をかけるだけだった。

まさこ ふる さえ まさこ かみ つよ にぎ おも き つち うえ
真子は震えがとまらなくなった。紗枝は真子の髪を強く握り、思い切り土の上に
たお かお つち
倒し顔を土に擦りつけた。

すこ きれい けしょう ぶす
「あんたが少しでも綺麗になるように化粧してやってんだよ。このブス。」

きょうこ いちほさ まさこ
恭子は一歩下がって真子がいじめられる
こうけい み
光景を見つめていた。

きょうこじしん けつ まさこ て だ
恭子自身は決して真子には手を出さなかつ

まさこ
た。真子をののしることはあっても。

きょうこ わたし
——恭子ちゃん。私ね。

词汇链接



いじめ：欺侮，凌虐

皮肉な：讽刺的

綺麗に：漂亮的，好看的



木よう

星期四

しつもん 質問 問題

まよなか やまみち おとこ ひとり て も すこつぶ あな ほ すうじかんご
真夜中の山道で、男は一人せつせと手に持ったスコップで穴を掘り、そして・・数時間後、
できあ あな うえ むの ひ さら うえ うす つち も おとこ まんぞく え う
出来上がった穴の上に布を引き、更にその上に薄く土を盛ると男は満足そうに笑みを浮か
あか やまみち お い
べ、明るくなりかけた山道を下りて行きました。

つぎ ひ まよなか おとこ お あな ばしょ い いっぴき いぬ
そして次の日の真夜中、男が落とし穴の場所に言ってみると、そこには一匹の犬が、
いぬ じぶん み あ おとこ き しっぽ さゆう ふりふり
犬は自分を見上げる男に気がつく、うれしそうにシっぽを左右にフリフリ。

で
「やあ・・ここから出たいかい？」

おとこ いぬ き いぬ おとこ ことば わ
男は、犬にそう聞きましたが、犬には男の言葉が分かるわけもなく。

「ワン、ワン」

おとこ て も すこつぶ あな いぬ い う
すると男は手に持ったスコップで穴ごと犬を生き埋めにしてしまいました。

つぎ ひ つぎ ひ おとこ く かえ あな ほ お もの しつもん
そして、次の日も、次の日も、男は繰り返し穴を掘り、そこに落ちた者に質問しましたが、
だれ おとこ と こた
結局、誰も男の問いに答えてはくれません。

かれ みな おとこ ことば りかい
なぜなら彼らは皆、男の言葉が理解できない。

かれ けもの にんげん
彼らは獣、人間ではなかったから・・。

つぎ あな お ちい あか だ きれい じよせい
しかし、次に穴に落ちていたのは、小さな赤ちゃんを抱いた綺麗な女性でした。
おとこ じよせい き
男は女性にこう聞きました。

で
「ここから出たいかい？」

じよせい ふる こえ
女性は震える声で、

「はい・・・」

おとこ い
すると男はこう言いました。

まえ で
「お前も出たいかい？」

おとこ じよせい だ あか き ことば おぼ あか
男は、女性が抱く赤ちゃんにそう聞きましたが、まだ言葉を覚えていない赤ちゃんはた
ははおや うで なか すやすや ね
だただ、母親の腕の中でスヤスヤと寝ています。





おとこ さんねん いき て も
男 は残念そうにため息をつくと手に持った

すこっぶ ふたり う
スコップで二人を生めてしまいました。

かんたん しつもん こた
「こんな簡単な質問にも答えられないとは・・・」

おとこ なげ ひとりやまみち お
男 はそう嘆くと、一人山道を下りていきました。

词汇链接



まよなか
真夜中：深夜

あか
赤ちゃん：婴儿，婴儿

うで なか
腕の中：怀中，怀里



星期五

ま
ここで待ってる 在这里等着

さまざま はなばな みだ おか うえ ふたり わかもの た
様々な花々が咲き乱れる丘の上に、二人の若者が立っていた。

りよう て ひとみ
両の手をつなぎ、瞳をあわせる。

おれ あした こく ま
「俺は明日のこの刻に、ここで待ってるから」

かれ い かのじょ せ む ふ む ある
彼はそう言い、彼女に背を向けると、振り向かず歩いていった。

かのじょ かれ むね かがや べんだんと にぎ し あした こんぎ おも
彼女は、彼にもらった胸に輝くペンダントを握り締め、明日の婚儀に思いをは

せた。

おのれ やくわり うんめい み
己の役割を全うせねばという運命に身を

した む くちびる か
ゆだね、下を向き唇を噛みしめた。

ひとみ なが なみだ かんじょう ものがた
瞳から流れる涙が感情を物語っている。

こごえ つぶや
そして、小声で呟くのだった。

い
「あなたのもとには行けないわ」

词汇链接



わかもの
若者：年轻人，青年

さまざま
様々な：各种各样的

ひとみ
瞳：眼睛，眼眸



星期一

たまご 鸡蛋

おとこ こ たまご
男の子は卵をあたためていた。

だいどころ も たまご だいじ だいじ
台所からこっそり持ってきた卵を大事に大事に。

あさ お
「もう朝よ、起きなさい」



第2周



い おとこ こ ふとん もぐ たまご
言われても 男の子は布団に潜ったまま、卵をあたためていた。

う なん なまえ
ひなが生まれたら何て名前にしようかな

なに
ごはんは何をあげたらいいのかな

ねこ み き
猫に見つからないように気をつけなくちや

かんが
そんなことを考えながら。

れいぞうこ はい たまご だめ
こないだのは、冷蔵庫に入ってた卵だったからダメだったんだ

わた つつ ひさま あ だめ
綿で包んだらお日様が当たるところにおくだけじゃダメなんだ

やっぱりこうしてお腹であつたためあげなくちや

かんが
そんなことを考えながら。

ようちえん い じかん お
「もう幼稚園に行く時間よ、起きなさい」

い おとこ こ ふとん ん だ
言われて男の子は、しぶしぶ布団から抜け出した。

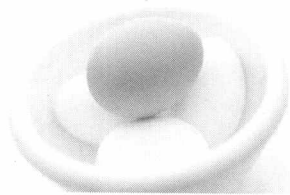
たまご ふとん なか お
卵は布団の中にそっと置いたまま。

ようちえん かえ おとこ こ た
幼稚園から帰ると、男の子はおやつも食わずに

ふとん
布団にもぐりこんだ。

たまご
でもそこには卵がない。

おとこ こ な
男の子は泣いた。



词汇链接



ふとん
布団：被褥，棉被

冷蔵庫：冰箱

幼稚園：幼儿园



みそ か
晦日 除夕

星期二

どきどき しんぞう ひめい あ
ドキドキと、心臓が悲鳴を上げる。

し つ いた こちち くる
締め付けられるような痛みは、どこか心地よい苦しみだった。

ことし
もうすぐ、今年が終わる。

きょねん ゆう おおみそか
去年までは、憂うつだった大晦日。

おとな ちかづ き おとな
どんどん大人に近付いてゆく気がして、それなのにちっとも大人になれなくて。

とし あ おも
年なんて明けなければいい、と思っていた。

はつもうで

「初詣、か」

こゆび み

しぜん かお あつ

じつと小指を見つめると、自然と顔が熱くなる。

た

わたし

あし

耐えかねた 私は、じたばたと足をばたつかせた。

がたん ふたり

じゅうようせい

かれ

元旦を二人で過ごすことの重要性を、彼はわかっているのだろうか。

ゆめ

もしかすると、夢だったのではないか。

な

やくそく

かんが

あまりにもあっさりとなされた約束だったので、そんなことすら考えてしまう。

(やくそく)

『約束な』

だいす

こえ

おも

うれ

おの

大好きなあの声を思い出せば、嬉しくて、自

ずとにやけてしまつて。

いちねん

ゆいいつ

よふ

ゆる

ひ

一年で唯一、夜更かしが許されるこの日。

あした

ことし

ね

明日のために、今年だけは早く寝よう、なんて。

きんちょう

ねむ

よる

く

ねんとう

お

わたし

のんき

緊張で眠れぬ夜が来ることも念頭に置いていなかった私は、暢気にも考えて

いた。

词汇链接



ゆう

憂うつ：郁闷，忧郁，抑郁

やくそく

約束：约定

ねむ

眠れぬ：睡不着



星期三

ひまわり 向日葵

かていようしゅれっだ

うな

あ

た

た

ちようぼ

どんよく

た

つづ

家庭用シュレッダーが唸りを上げて、溜まりに溜まった帳簿を食欲に食べ続けている。

つま

もくもく

ちようぼ

ほっちきす

きんぞくふあすな

はず

妻は黙々と帳簿のホッチキスや金属ファスナーを外し、

しゅれっだ

しょくじ

とだ

べ

ば

シュレッダーの食事を途絶えさせないよう、ペーパーだけにして

おつと

わき

つ

あ

夫の脇に積み上げている。

ねんかんつづ

かいしや

けつきよはさん

35年間続けてきた会社を、結局破産させねばならなく

むねん

そうかんじようもとちよう

べ

じ

わ

あ

なった無念さが、総勘定元帳のそれぞれのページから湧き上がってくる。

はさんしよりしんせい

よる

ゆいいつがいしや

しつぺい

しなもの

かていようしゅれっだ

破産処理申請の夜に、唯一会社から失敬した品物が、この家庭用シュレッダーだ。

なんしゅるい

しんきぶんべつしゅしゅ

かみ

す

こと

きょねん

20何種類もの新規分別収集とかで、紙もすっかり捨てられなくなった事を、去年の

じちかいやくいんけいけん

じゅくち

つま

い

ちえ

自治会役員経験で熟知していた妻の入れ知恵だ。

